

4つのCSR重要課題

方針

KDDIのCSR重要課題

KDDIは重点的な取り組みとして、4つのCSR重要課題を定めました。

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、社会的な関心が高く、かつKDDIが社会とともに持続的成長を目指すための課題を定めています。



重要課題(ガバナンス)

安定した情報通信サービスの提供

ICTは、社会にとって欠くことのできないライフラインです。KDDIの事業を通じた最大の責務は、お客さまに情報通信サービスを安定的に提供することです。そのため、自然災害や設備故障によるネットワーク障害を可能な限り回避し、常に品質の高い情報通信サービスを24時間365日提供できるよう努めています。



重要課題(社会)

安心・安全な情報通信社会の実現

子どもたちがスマートフォンや携帯電話をきっかけに、トラブルに巻き込まれることが社会問題化しています。KDDIは、子どもたちの「情報リテラシー」を向上させる活動「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」の実施や有害情報を遮断するフィルタリングの普及を行うなど、安心・安全な情報通信社会の実現を目指し、さまざまな取り組みを展開しています。またシニアに対するデジタルデバインド解消に向けた取り組みも強化しています。



重要課題(社会)

多様な人材の育成による活力ある企業の実現

KDDIでは、ダイバーシティ推進を持続的な企業成長のための経営戦略のひとつとらえています。社員の個性を尊重し、画一的な「型」にはまることを強要せず、外的な違い、内面の違い、会社組織における違いなどを認め合い、個人の能力を発揮できる組織・環境づくりを目指しています。ダイバーシティ推進は、「KDDIフィロソフィ」第1章目指す姿「ダイバーシティが基本」を実践することです。



重要課題(環境)

地球環境保全への取り組み

地球環境保全は人類共通の課題であり、長期的に取り組んでいく必要があります。KDDIでは5か年ごとに中期環境保全計画を策定し、現在進行中の計画では「低炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」に向けて取り組んでいます。これらを実現するため、自社の環境負荷低減のほか、社会の環境負荷低減に寄与するICTサービスの提供、お客さま・従業員等と取り組むさまざまな環境保全活動を推進しています。

4つのCSR重要課題

方針

CSR重要課題特定のプロセス

KDDIは、自社を取り巻く社会的課題についてエンゲージメントを実施しました。ステークホルダーの皆さま、有識者の方々との対話の結果、多くの課題のなかからKDDIが注力して取り組むべき課題を4つに特定。社会の関心およびKDDIの持続的成長のための課題、双方に重要度が高い4つのテ

マです。その後、CSR・環境委員会（現 CSR委員会）で重要課題が採択されています。

また、社長を含めた経営層と有識者の方々とのあいだでもダイアログを実施。多くの意見をいただき検討した結果、重要課題の継続を社長が決定しました。

4つの重要課題における、より具体的な取り組み事項については、GRI (Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」、ISO26000、SASB (SUSTAINABILITY ACCOUNTING

STANDARDS BOARD) (Telecommunications)等をチェック項目として活用し、当社の活動に反映させています。

浸透

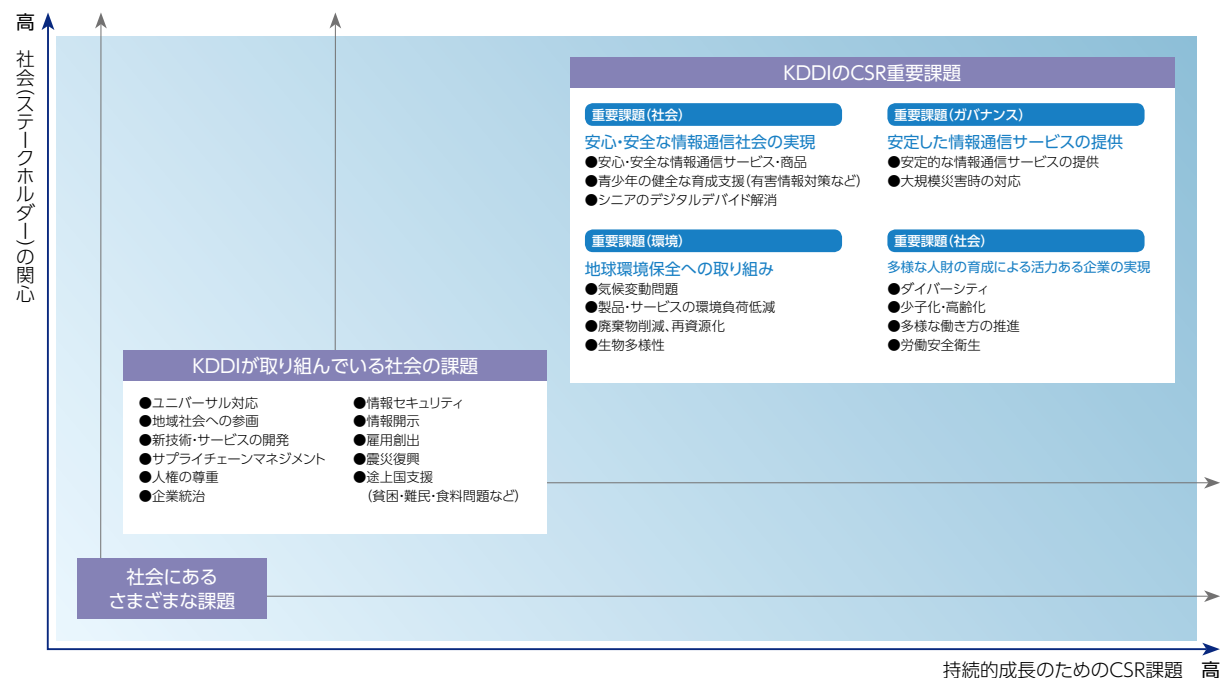
CSR重要課題の浸透

4つの重要課題推進は、KDDI CSR・環境推進室が中心となって啓発を行っています。

重要課題の対象範囲は、KDDIおよびグループ164社としています。また、お取引先さまとは2013年度に施行した「KDDI CSR調達方針」および2015年度に策定した「KDDI サプライチェーンCSR推進ガイドライン」を通じ、課題の共有を図っています。

さらに、ダイアログをはじめとして、ステークホルダーと積極的な対話を行い、そのなかでいただいたご意見やご指摘を今後のCSR活動の推進に反映させています。

社会の課題と4つのCSR重要課題



4つのCSR重要課題

活動・実績

CSR重要課題における目標・実績・課題

2015年度のCSR重要課題における主な目標と実績、および2016年度の主な課題とその対策案を報告します。

〈評価基準〉

A+: 課題に対し大幅な成果が得られた

A: 一定の成果が得られた

B: 取り組みを行ったが、成果を得るにいたらなかった

C: 取り組みなかった

	優先度	重要課題	目標およびKPI	バウンダリー		2015年度活動実績	評価	今後の課題
				組織内	組織外			
ガバナンス	A	安定した情報通信サービスの提供 (大規模災害対策のさらなる強化)	・災害対策訓練において抽出された課題改善率 100%	●	●	・課題改善率 100%	A+	・地上回線の被災時(通信全断時)におけるバックアップ体制の構築
	B	CSR活動推進体制の強化	・CSR委員会の設置 ・KDDI行動指針の見直し	●		・CSR委員会の設置および第1回CSR委員会の開催 ・[KDDI行動指針]の改訂	A+	・CSR委員会における次期環境保全計画の審議およびCSR活動に関するPDCAの実施
	B	理念・規範の浸透	・[KDDIフィロソフィ]全従業員向け勉強会の実施 ・[KDDI行動指針]関連eラーニング受講率 100%	●		・[KDDIフィロソフィ]全従業員向け勉強会延べ参加人数 36,995名 ・[KDDI行動指針]関連eラーニング受講率 93%	A	・[KDDIフィロソフィ]の継続した浸透活動 ・改訂した[KDDI行動指針]の浸透
社会	A	安心・安全な情報通信社会の実現 ([KDDIスマホ・ケータイ安全教室]の品質向上)	・ジュニア向け講座満足度 90点 ・シニア向け講座理解度 83%	●	●	・ジュニア向け講座満足度 93.5点 ・シニア向け講座理解度 83.1%	A+	・KPI向上に向けた施策の検討(トラブルの多様化にともなうプログラムの見直し、シニア向けに関する新しいニーズへの対応)
	A	多様な人財の育成による活力ある企業の実現(ダイバーシティのさらなる推進)	・2015年度末 女性管理職 数値目標 女性ライン長 90名(女性ライン長比率 7%)	●		・2015年度末の女性管理職 女性ライン長 94名(女性ライン長比率 7.1%)	A+	・2020年度末までに女性ライン長200名登用に向けた施策の推進
	B	サプライチェーンCSRの推進	・CSR調達アンケート回収率 90%以上 ・[KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン]の策定	●	●	・CSR調達アンケート回収率 ほぼ100% ・[KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン]の策定(2016年3月)	A+	・[KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン]のお取引先さまへの浸透
	B	人権への対応	・人権方針の策定 ・人権啓発の推進	●	●	・[KDDIグループ人権方針]の策定(2016年3月)	A	・全従業員への人権啓発の推進
	B	地方創生を目的とした新規施策の検討および実施	・離島地域支援施策の検討および実施	●	●	・au WALLET Market「しまものマルシェ」を実施(2015年12月)	A+	・地方創生に結びつく継続した支援活動の実施

4つのCSR重要課題

	優先度	重要課題	目標およびKPI		パウンダリー		2015年度活動実績	評価	今後の課題
			組織内	組織外	組織内	組織外			
環境	A	地球環境保全への取り組み (第3期中期環境保全計画の遂行)	・電力消費量(省エネ対策を講じない場合との比較) 2016年度までに30%抑制			・目標達成ペースで進捗中	A+	・産業廃棄物処理業者の受け入れ態勢の整備 ・2017年度以降の中期計画の検討	
			・加入者あたりの電力消費量(2011年度比) 15%削減			・33.4%削減	A+		
			・トライブリッド基地局設置数 100局(2012年度目標)			・トライブリッド基地局設置数 100局(2013年3月末)	A+		
			・撤去通信設備のゼロエミッション徹底 最終処分率 1%以下 (最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義)	●	●	・0.8%	A+		
		・使用済み携帯電話のマテリアルリサイクル率 99.8%以上				・99.8%	A		
		・自社ビルおよび本社ビルを対象とした一般廃棄物のマテリアルリサイクル率 90%以上				・85.7%	B		
	B	サプライチェーンの課題把握	・スコープ3(全15項目)への対応(2015年度分について全15項目で算定、検証)	●	●	・達成	A+	・3ヵ年の傾向把握による今後の削減施策の検討(次期環境保全計画への反映)	
	B	環境コミュニケーションの強化	・年1回以上のeラーニング実施 ・年1回以上のステークホルダーエンゲージメントの実施(ダイアログ等)	●	●	・全従業員必須eラーニング[地球温暖化とスコープ3]の実施 ・CSR調達・グリーン調達に関する有識者とのダイアログの実施	A	・エンゲージメントにおいて抽出された課題への対応	
	C	生物多様性保全の推進	・新たな生物多様性保全への取り組み	●	●	・既存のプログラム(ガンジスカワイルカ等)の推進、新たな取り組みの検討に留まる	B	・生物多様性保全の新たな取り組みの検討	